

2022年12月27日

 中電環境テクノス株式会社

730-0041 広島市中区小町4番33号

「温室効果ガス排出量算出・可視化コンサルティング」の事業化に向けた 試行の開始について

当社は、本年12月から温室効果ガス排出量算出・可視化コンサルティング^(※)事業の試行を開始しましたので、お知らせします。本試行の結果等を踏まえ、次年度からの事業化に向けて検討を進める予定としています。

パリ協定を契機に、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素を巡る動きが加速するなか、企業にはネットゼロ社会の実現に向けた取り組みが求められていますが、中小企業を中心に「何から取り組めば良いのか分からない」という声が聞かれます。企業が脱炭素への取り組みを行うためには、まずは自社の温室効果ガス排出量を可視化することが必要となります。

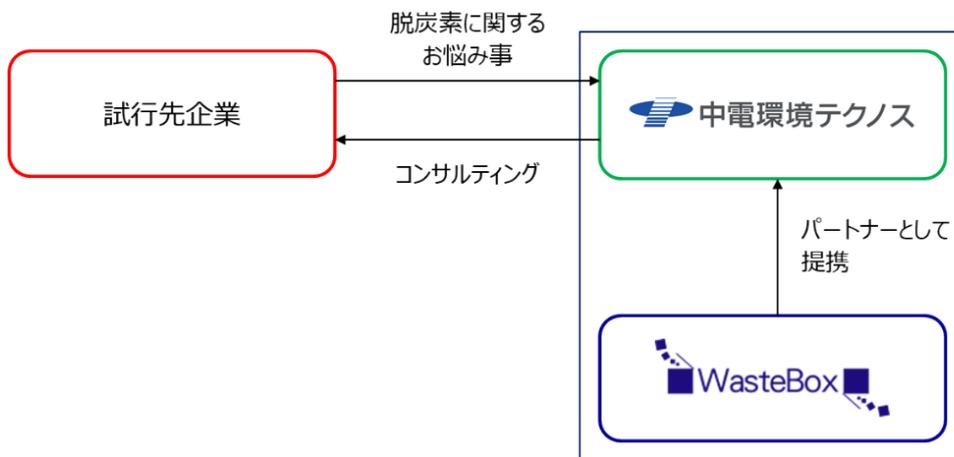
当社は、長年培った環境関連の知見を活かし、排出量可視化事業を提供することで、中国地域の企業に寄り添いながら、脱炭素経営に向けた取り組みを支援できると考え、このたび、事業化に向けた試行を開始しました。なお、本試行では、環境負荷・温室効果ガス排出量把握の専門家として多くの実績・知見を有する株式会社ウェイストボックス（代表取締役 鈴木修一郎）をパートナーとして、お客さまの事業活動に関連する温室効果ガス排出量の算出・可視化を支援します。

当社は、本試行の結果を踏まえ、パートナー企業とともに、温室効果ガス排出量算出・可視化コンサルティングの本格展開について検討を進めるなど、お客さまニーズに応えつつ、地域のカーボンニュートラルに貢献してまいります。

(※) 温室効果ガス排出量を算定・報告する際の国際的な基準等に基づく算出のコンサルティング。

お客さまの事業活動による直接排出（Scope 1）、購入した電気などの使用に伴う間接排出（Scope 2）、事業活動に関連する他社の排出（Scope 3）からなる。

【試行のイメージ図】

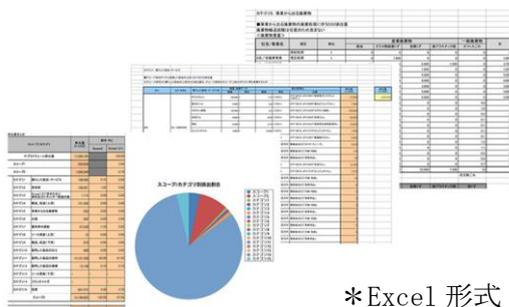


【算定・可視化のステップ】

1. 目的の明確化、算定対象範囲の設定等
2. Scope1,2,3のデータ収集、排出量算定
3. 排出量算定結果のご報告・可視化



【納品物イメージ】



【パートナー企業について】

会社名	株式会社ウェイトボックス
所在地	愛知県名古屋市中区栄2-6-1 RT白川ビル 2階
設立	2006年2月
代表者	鈴木 修一郎

㈱ウェイトボックスは、製造業の中心地である愛知県に拠点を置く、2006年創業の環境コンサルティング企業。同社は、「環境と経済の両立を通して循環型社会および脱炭素社会構築に貢献する」をミッションとし、企業の環境負荷の把握と情報発信の支援を行っている。炭素可視化に関する国際ルールに精通しており、CDP や TCFD などの国際的な開示要請への対応支援や、製品やサービスのライフサイクルにおける炭素排出量の算出 (LCA)、炭素クレジットの創出・権利化の支援等を、プライム上場企業や地域金融機関をはじめ多くの企業へ提供。また、CDP によって、日本で唯一の気候変動コンサルティング&SBT 支援パートナーにも認定されている。